

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

ドイツの名匠ヴァイグレが振る
偉大なるドイツ音楽

ウィーン・フィルの首席奏者が、
甘い音色で聴衆を虜にする！
極上のモーツァルト



©Wolfgang Runkel

ブラームス 交響曲 第1番

ウェーバー：歌劇「魔弾の射手」序曲
Weber: "Der Freischütz" Overture

モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調 K.622
Mozart: Clarinet Concerto in A major, K.622

ブラームス：交響曲 第1番 ハ短調 作品68
Brahms: Symphony No. 1 in C minor, op.68

名門フランクフルト歌劇場の音楽総監督を務める名匠
バイロイト音楽祭、ウィーン国立歌劇場などで活躍
指揮：セバスティアン・ヴァイグレ
Conductor: Sebastian Weigle

モーツァルト クラリネット協奏曲

ウィーン・フィルの首席奏者を務める“貴公子”
世界の聴衆を魅了する驚異の美音を披露！

クラリネット：ダニエル・オッテンザマー
Clarinet: Daniel Ottensamer

コンサートマスター：長原 幸太
Concertmaster: Kota Nagahara

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
事業提携：東京芸術劇場

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター：0570-00-4390（10時～19時 年中無休）
<http://yomikyo.or.jp/>

読売日本交響楽団 第190回 土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series, No.190

2016年 8月27日(土) 14時開演
東京芸術劇場 コンサートホール
Saturday, 27th August 2016 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C¥6,000

読売日本交響楽団 第190回 日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series, No.190

2016年 8月28日(日) 14時開演
東京芸術劇場 コンサートホール
Sunday, 28th August 2016 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C¥6,000

ウェーバー、モーツァルト、ブラームス 三つの名曲をドイツの名匠が披露！

CONDUCTOR: SEBASTIAN WEIGLE

指揮：セバスティアン・ヴァイグレ

オペラとシンフォニーの両方で世界の第一線で活躍するドイツの名匠。ベルリンに生まれ、ホルン、ピアノ、指揮を学ぶ。1982年からベルリン国立歌劇場管のソロ・ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。97年から2002年まで同歌劇場の第1カペルマイスター、04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督として輝かしい功績を残した。08/09年シーズンからフランクフルト歌劇場の音楽総監督を務め、ワーグナーやR.シュトラウス作品を中心に幅広いレパートリーで高い評価を得ている。これまでに、バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、メトロポリタン歌劇場、ウィーン国立歌劇場、ドレスデン歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ハンブルク国立歌劇場、ウィーン響、ベルリン放送響、バンベルク響などへ客演。今回が読響と初共演となる。

ドイツ本流の名匠セバスティアン・ヴァイグレが、得意とするドイツ・オーストリア音楽から珠玉の名曲を三つ指揮する。ソロ・ホルン奏者としてベルリン国立歌劇場管で活躍した後に指揮者に転身したヴァイグレは、現在フランクフルト歌劇場の音楽総監督を務めるほか、バイロイト音楽祭など国際的な舞台上で活躍している。今回のプログラムは、彼の實力と持ち味が存分に発揮されることだろう。

1曲目は、ドイツ・ロマン派を確立したとされるウェーバーの歌劇「魔弾の射手」序曲。深い森を思わせるホルンの幻想的な旋律に始まり、木管楽器が甘い旋律を歌い、オペラのストーリーさながらドラマティックに展開する。最後は、明るい雰囲気華々しく閉じられる。

続いては、モーツァルトのクラリネット協奏曲。モーツァルトが最晩年にウィーンで作曲し、モーツァルトの最高傑作に挙げる人もいるほどの人気を誇る。何よりクラリネットの温かな音色で奏でられる聴き心地のよい旋律は、一度聴いたら忘れられないほど印象的。第2楽章の天国的な美しさは、モーツァルトが到達した究極の美の世界と言えるだろう。

今回は、ウィーン・フィル首席クラリネット奏者のダニエル・オッテンザマーがソロを務める。彼の父エルンストもウィーン・フィルの首席クラリネット奏者だった。モーツァルトの世界を最も深く知るソリストの系譜は貴重だ。ウィーンの特徴の音色による絶品のモーツァルトをご堪能いただきたい。

メインは、ロマン派の交響曲の代表作とされるブラームスの交響曲第1番。着想から完成まで20年以上を費やした力作だ。緊張感に満ちた劇的な冒頭から重厚な響きが全体を支配し、苦悩や心の葛藤がうずまく。次第に浮かぶ明るい兆しが、最終楽章では生きる確信へと変わる。そして歓喜にあふれた希望の旋律が堂々たるフィナーレを築く。

名匠ヴァイグレが本場さながらの巧みなタクトで、三つの名曲をどのように響かせてくれるのか、この夏屈指の聴きものだ。

CLARINET: DANIEL OTTENSAMER

クラリネット： ダニエル・オッテンザマー

ウィーン・フィルの元首席クラリネット奏者エルンストを父に持つ音楽一家の出身（弟のアンドレアスはベルリン・フィルの首席奏者）。世界で最も権威あるカール・ニールセン国際クラリネット・コンクールをはじめ、数々のコンクールで入賞。2009年からウィーン・フィル及びウィーン国立歌劇場の首席奏者を務めている。ソリストとして、マゼール、ネルソンス、ドゥタメル、アダム・フィッシャーらの指揮で、ウィーン・フィル、ザルツブルク・モーツァルト管、シモン・ボリバル響などと共演。室内楽では、B.ボニー、T.ハンソン、J.ラクリン、M.マイスキーらと共演。父と弟と共に「クラリネット」を結成し、活動を展開している。ソニー・クラシカルなどからCDもリリース。

読売日本交響楽団 第190回 土曜マチネーシリーズ

2016年 **8月27日** (土) 14時開演

S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C **SOLD OUT**

読売日本交響楽団 第190回 日曜マチネーシリーズ

2016年 **8月28日** (日) 14時開演

S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C **SOLD OUT**

東京芸術劇場 コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分（※駅地下通路2b出口と直結しています）

読売日本交響楽団には一時託児施設があります。だっこルーム03-3981-7003

学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*10時～18時・年中無休

*座席選択してチケットをご購入いただけます（一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く）。*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド：チケットぴあ 0570-02-9999、東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296